

## 「評価結果の概要」

### センターが把握している圏域の特徴

【圏域の人口等】平成28年(2016年)10月1日現在

総人口 64,615人 / 高齢者人口 15,173人 / 高齢化率 23.48%

【圏域の特徴】

圏域内が2つの大きなUR住宅と戸建住宅に大別されます。商店街などがなく、人が集まる場が少ない地域です。買い物や仕事などの外出には路線バスが主な交通手段で、圏域全体に坂道が多く、バス停や校区内の集会へ出かけるのにも不便さを感じる地域です。

### センターの取組方針や特徴

7月からの分室の設置にともない、スカイプや内線電話などの連絡手段でできる限り情報共有を行っています。また、管理者が週に1～2回は分室で業務を行うことで、業務内容の確認、指導を行い、センターの活動内容に偏りや差異が出ないように配慮しています。

困難ケースにはできる限り職種を代え、二人対応とし、一人で抱え込まず、全員で相談し対応できるように取り組んでいます。

特に力を入れて活動しているものとして、医療職4人が中心となり毎月のサロン、地域教室で介護予防について講話、体操などの啓発活動を行っています。また、地域での出張相談やなんでも相談などには直接出向き、近隣住民と直接関わることで、関係を深めています。高齢者とともに若年のきひこもり家族がいる、生活困窮しているケースなどはCSW(コミュニティーソーシャルワーカー)とともに対応することを基本としています。

### 総評

昨年度の外部評価を踏まえ、個人情報の適正な管理や、公正・中立性の確保に重点的に取り組んでいます。記録類の整備や初期段階での対応について不十分な点が見受けられましたので、今後さらなる取り組みが望まれます。

### 好事例

○介護予防ケアマネジメントについて、介護予防事業の不参加理由の記録とともに、不参加理由の評価、考察がなされています。その後のアプローチについてもとりまとめており、今後の活動の参考としています。

○職員の情報共有について、回覧や周知事項は事務所内の掲示板において一覧できるようにし、周知の進捗状況が把握できるようにしています。